



豊田市の孤独・孤立対策（つなぐる）の 令和 6 年度の実績について（報告）

1 孤独・孤立対策（つなぐる）について

孤独・孤立対策推進法（R6.4 施行）に基づき、国の基本理念である【予防】【支援】【脱却】の3つの要素を踏まえ、本市の孤独・孤立対策の考え方（つなぐる）※を整理
孤独・孤立は誰にでも起こり得る可能性があり、悩みや困りごとが深刻化・複雑化する前に対応することも重要なため、豊田市では全庁及び官民連携で【予防】に重点を置いた孤独・孤立対策を推進することとし、以下の事業を実施している。

※SNS や WEB 等で検索して情報収集することを指す「グぐる、タぐる」等と同様に、各種媒体や社会資源を活用してつながりを生み出すこと

2 令和 6 年度の実績等について

【予防】の実績

- ・市内で活躍しているサポーターやボランティア等を対象にした講演会開催
様々な分野や施策で活動するボランティアやサポーターが、それぞれ「つながり」や「よりそい」の意味を再確認する機会とした。（2月15日「よりそいセミナー」）
- ・市民や団体の交流、連携とまなび合いを促進するイベント「空想ファクトリー」の開催
企業や団体の社会貢献活動や居場所づくりなどの活動を発表し、交流するイベントを8月から毎月開催（全7回で延べ324人参加）
- ・WEBの広告を活用した相談機関（Google等による検索連動型広告）や「空想ファクトリー」（Youtube等視聴時に自動再生される動画広告）の周知
【検索広告】1月24日から36日間で累計17600表示、クリック回数280回
【動画広告】11月20日から101日間で累計34万表示、スキップせず視聴した率65%。

・「つなぐる Credo」を市役所全職員に配布

豊田市職員の行動規範として、職員証ケースに入れる等、常に持ち歩くことで市役所が孤独・孤立対策の考え方を率先して体現し、地域社会への浸透を図る。



【予防】の今後の取組

- ・庁内連携による、悩みごと別の分かりやすい相談先チラシの市民配布
民生児童委員や高齢者交通安全防犯推進員など各課が実施する様々な訪問事業と連携し、訪問の際にチラシ等で相談機関を周知していく。
- ・孤独・孤立の当事者体験ができるボードゲームを活用した市民啓発
作製したボードゲームを活用し、学校等への出前講座や体験イベントで市民へ啓発
→3月16日「WE LOVE とよたフェスタ」（スカイホール豊田）で初公開

【支援】【脱却】の実績

- ・身寄りを頼ることができない方の相談窓口を試行的に設置
社会福祉協議会と連携し、1月から福祉センター内に相談窓口を設置。